

**林業の生産性向上と
県産木材の利用拡大**
～伐って・使って、植えて、育てて。
埼玉の森が若返る～

埼玉県農林部森づくり課

本日のお話の流れ

- I 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大
～伐って・使って、植えて、育てて。
埼玉の森が若返る～
- II 林業の生産性向上に向けた取り組み
- III 県産木材の利用拡大に向けた取り組み



埼玉県5か年計画 施策54 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大



施策54 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大

担当部署 農林部

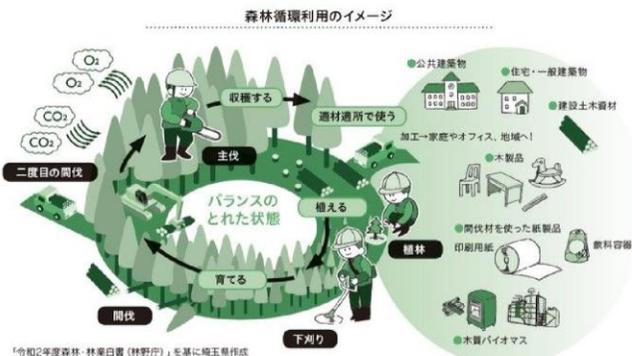
施策内容

本県では木材価格の低迷などを背景に、計画的な伐採や植栽が行われない「森林の少子高齢化」が進んでいます。「伐って・使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を進め、森の若返りを図ることで、持続可能な森林管理を推進します。

林業事業者の生産性を向上させるため、スマート林業*や森林の団地化・施業の集約化を推進するとともに、森林管理道などの整備や高性能林業機械の導入を進めます。

また、担い手を確保・育成するため、経営改善に取り組み林業事業者の支援や人材育成などを通じた技術力の向上を図ります。

さらに、県産木材の利用を拡大するため、サプライチェーン*の実現を図るなど安定的な供給体制を整備するとともに、公共施設などにおける利用を推進します。



主な取組

- 皆伐*・再造林システムの確立・普及
- 優良・少花粉苗木生産体制の整備
- スマート林業技術の導入・普及
- 森林の団地化と施業の集約化の促進
- 森林管理道や作業道の整備促進
- 高性能林業機械の導入支援
- 経営能力と技術力に優れた担い手の育成
- 県産木材の安定的な供給体制の整備
- 公共施設や民間住宅などでの県産木材の利用拡大

施策指標

県産木材の供給量

96,000m³(令和2年度) ▶ 120,000m³(令和8年度)

指標の説明

森林から伐採・搬出され、利用される木材量。
持続可能な森林管理のためには、木材の利用を拡大させ、森林資源の循環利用を進めることが重要であることから、この指標を選定。

目標の根拠

令和2年度までに木材供給量を森林資源の循環利用の実現に必要な201,000m³/年まで増加させることを目指し、目標値を設定。

民有林*内の路網密度

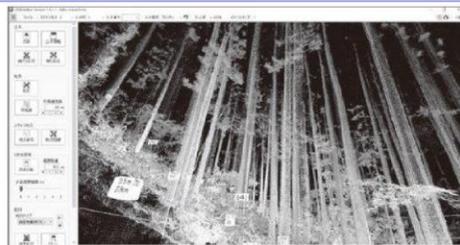
23.2m²/ha(令和2年度末) ▶ 25.4m²/ha(令和8年度末)

指標の説明

民有林内に開通している路網(公道、森林管理道及び作業道)の密度。

目標の根拠

効率的な森林整備や木材生産を可能とするための国が示した路網整備の水準を踏まえ、本県の自然条件などを勘案し、目標値を設定。



地上レーザー計測による森林資源調査



県産木材利用住宅

*スマート林業：ロボット技術やICT等を活用して、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた木材生産等を推進している林業のこと。

*サプライチェーン：製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体の一連の流れ。

*皆伐：林業で一定のまとまりのある森林内の立木の全部又は大部分を伐採すること。

*民有林：国有林以外の森林のこと。個人、会社・専社等が所有する私有林及び都道府県・市町村が所有する公有林などの総称。

埼玉県5か年計画

施策54 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大

主な取組

- 皆伐^{*}・再造林システムの確立・普及
- 優良・少花粉苗木生産体制の整備
- スマート林業技術の導入・普及
- 森林の団地化と施業の集約化の促進
- 森林管理道や作業道の整備促進
- 高性能林業機械の導入支援
- 経営能力と技術力に優れた担い手の育成
- 県産木材の安定的な供給体制の整備
- 公共施設や民間住宅などでの県産木材の利用拡大

施策指標

県産木材の供給量

農林部

96,000m³ (令和2年度) ▶ 120,000m³ (令和8年度)

指標の説明

森林から伐採・搬出され、利用される木材量。
持続可能な森林管理のためには、木材の利用を拡大させ、森林資源の循環利用を進めることが重要であることから、この指標を選定。

目標の根拠

令和2年度までに木材供給量を森林資源の循環利用の実現に必要な201,000m³/年まで増加させることを目指し、目標値を設定。

民有林^{*}内の路網密度

農林部

23.2m/ha (令和2年度末) ▶ 25.4m/ha (令和8年度末)

指標の説明

民有林内に開通している路網(公道、森林管理道及び作業道)の密度。
効率的な森林整備や木材生産を行うためには、路網が重要な生産基盤であることから、この指標を選定。

目標の根拠

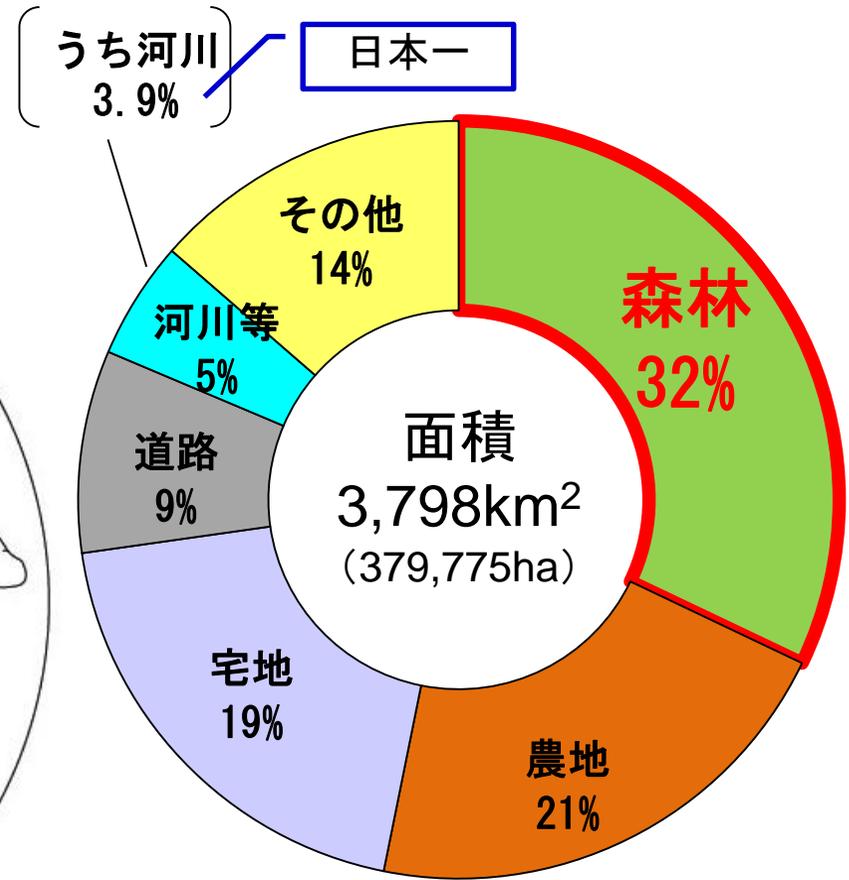
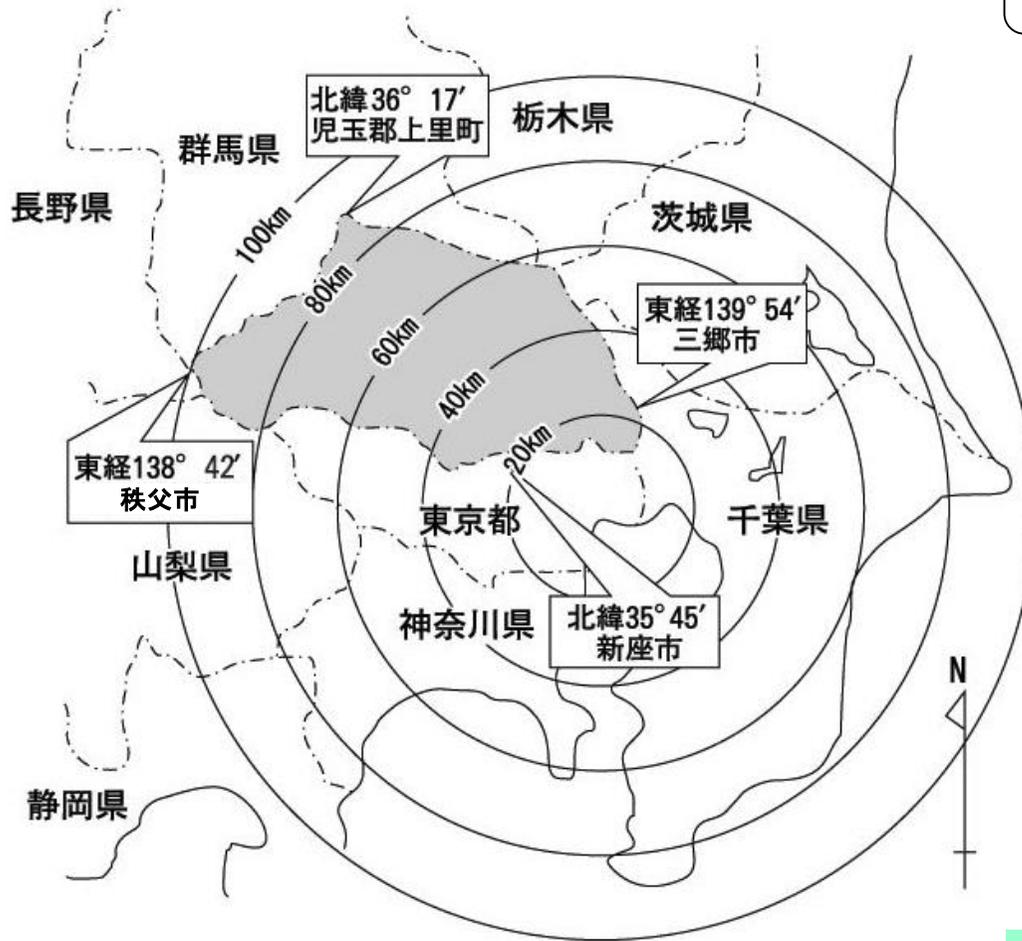
効率的な森林整備や木材生産を可能とするための国が示した路網整備の水準を踏まえ、本県の自然条件などを勘案し、目標値を設定。



林業部門の仕事

- 森林企画部門
- 森林整備部門
- 治山・森林管理道部門
- 木材利用部門
- 技術支援部門
- 試験研究部門 etc. . . .

埼玉県の森林の概要



人口 734万人(全国5位)

県土面積	全国第39位 (割合1.0%)
森林面積	全国第41位 (割合0.5%)

埼玉県の森林

丘陵林



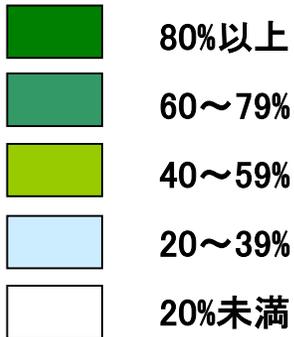
奥地林



・埼玉県森林面積: 121,260ha
 県内の約**32%**が森林



凡例



山地林



平地林



・地形や風土によって**意外と**
 多様な森林があります

奥地林



↑ 三宝山
(2,483m)
県内最高峰



カツラの巨木
(秩父市中津川)



↑ シオジの原生林
(秩父市中津川)

山地林

西川林業地帯(飯能市)



高性能林業機械を活用した森林の整備



県民の森(横瀬町)

丘陵林



越生ふれあいの里山(越生町)

中爪の谷津田(小川町)

平地林



見沼の斜面林(さいたま市)



三富の平地林(狭山市、三芳町他)



赤城の屋敷林(鴻巣市)

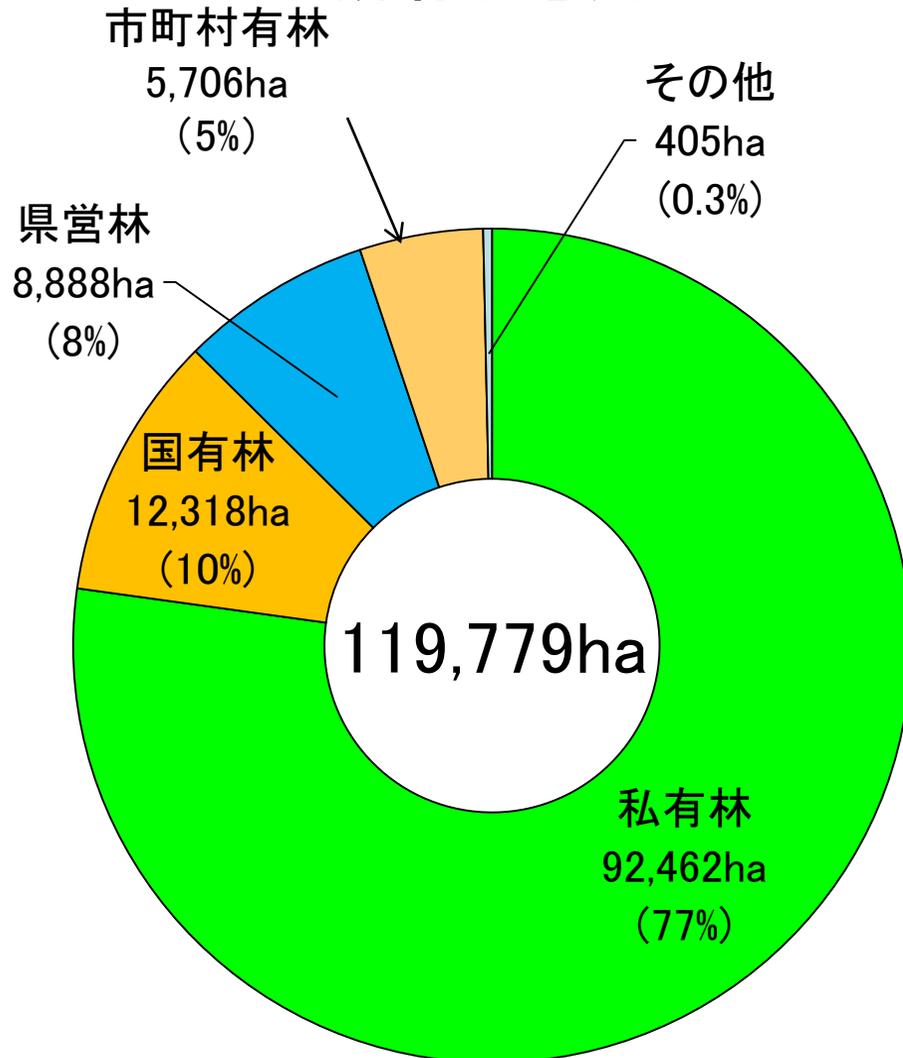


北本の平地林(北本市)

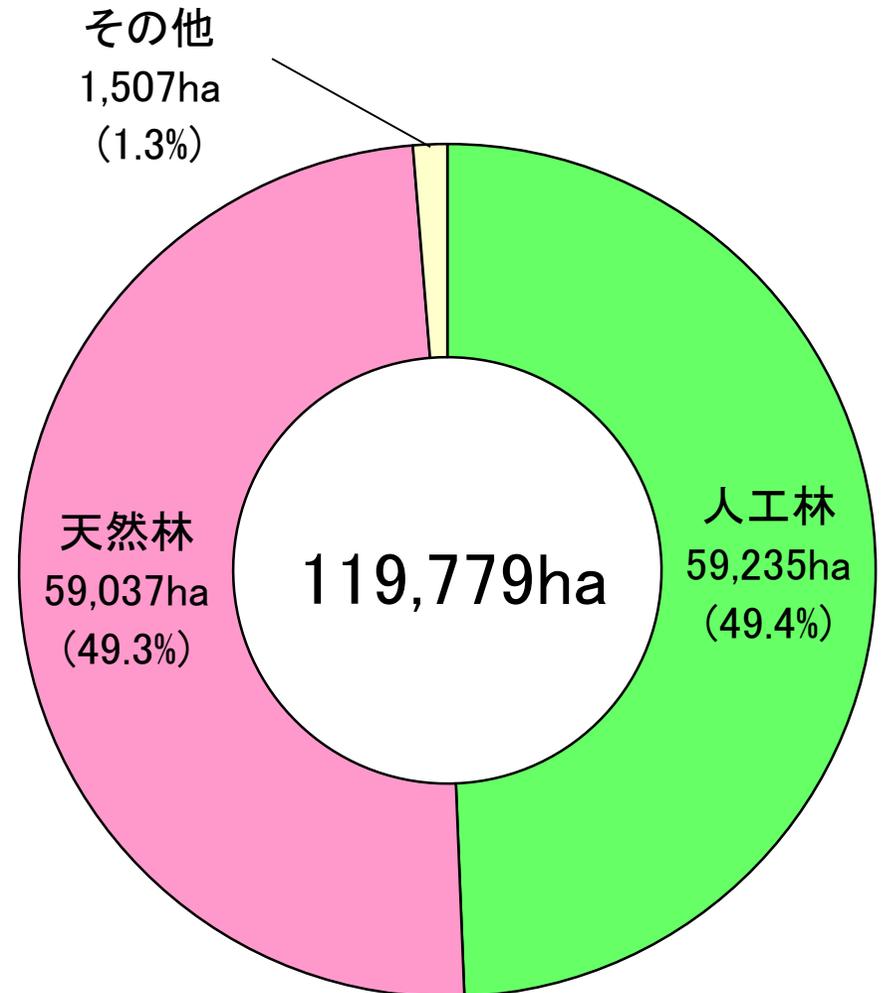
埼玉県の森林の内訳

2017年3月31日現在

所有形態別

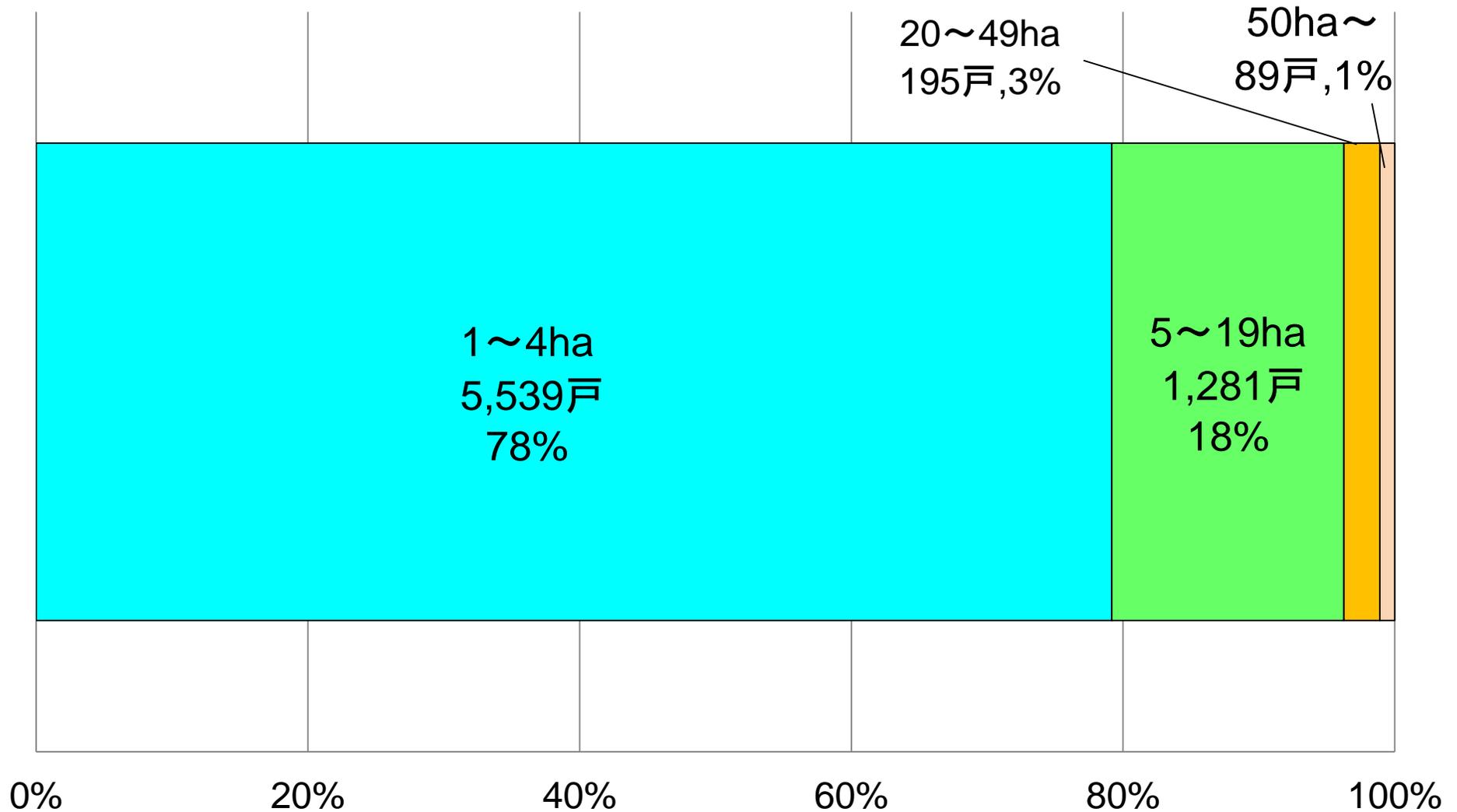


人工林・天然林別



林野庁調べ

埼玉県の所有規模別林家数



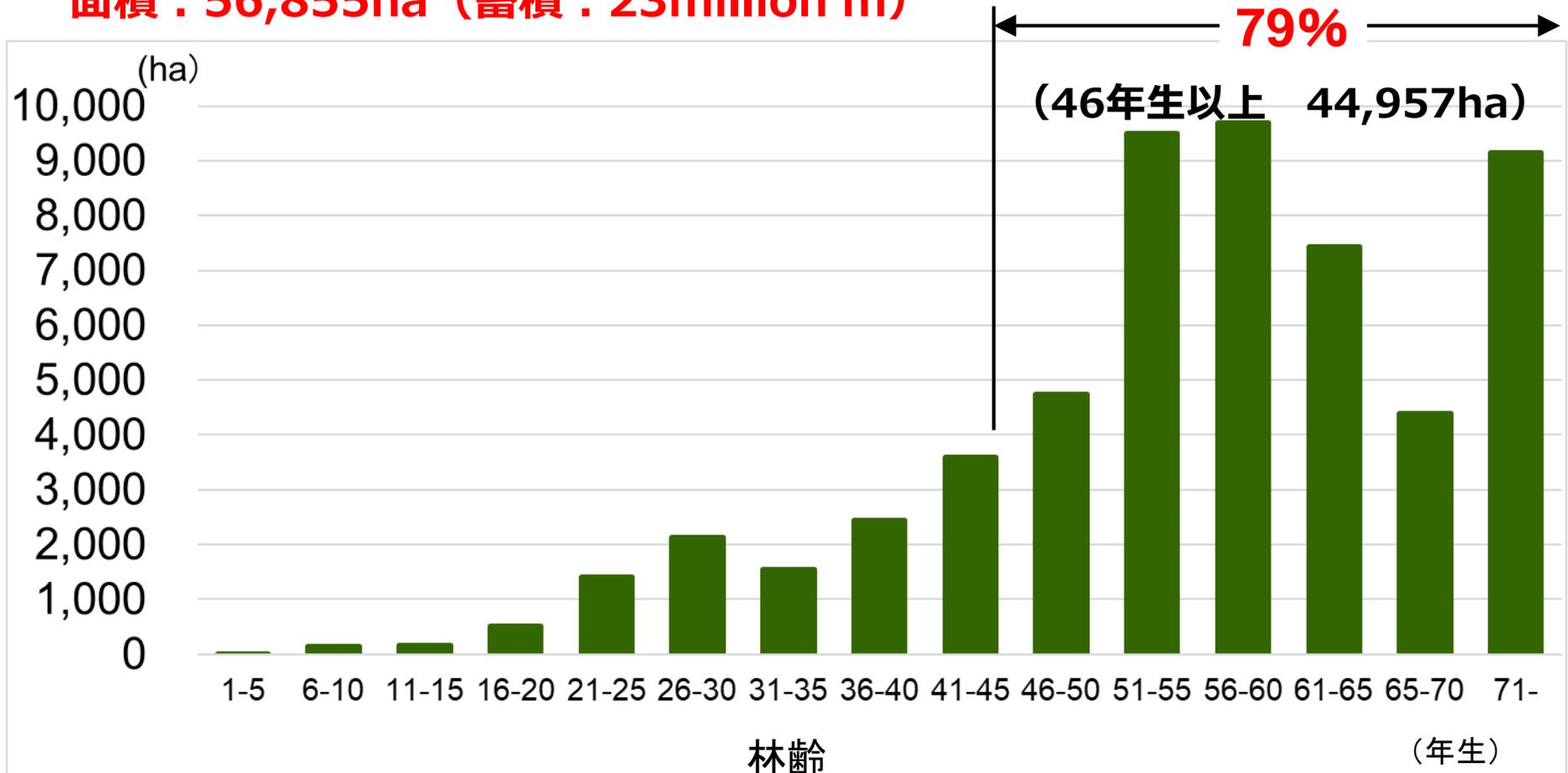
資料: 2015年農林業センサス

埼玉県的人工林の約8割が利用可能な時期

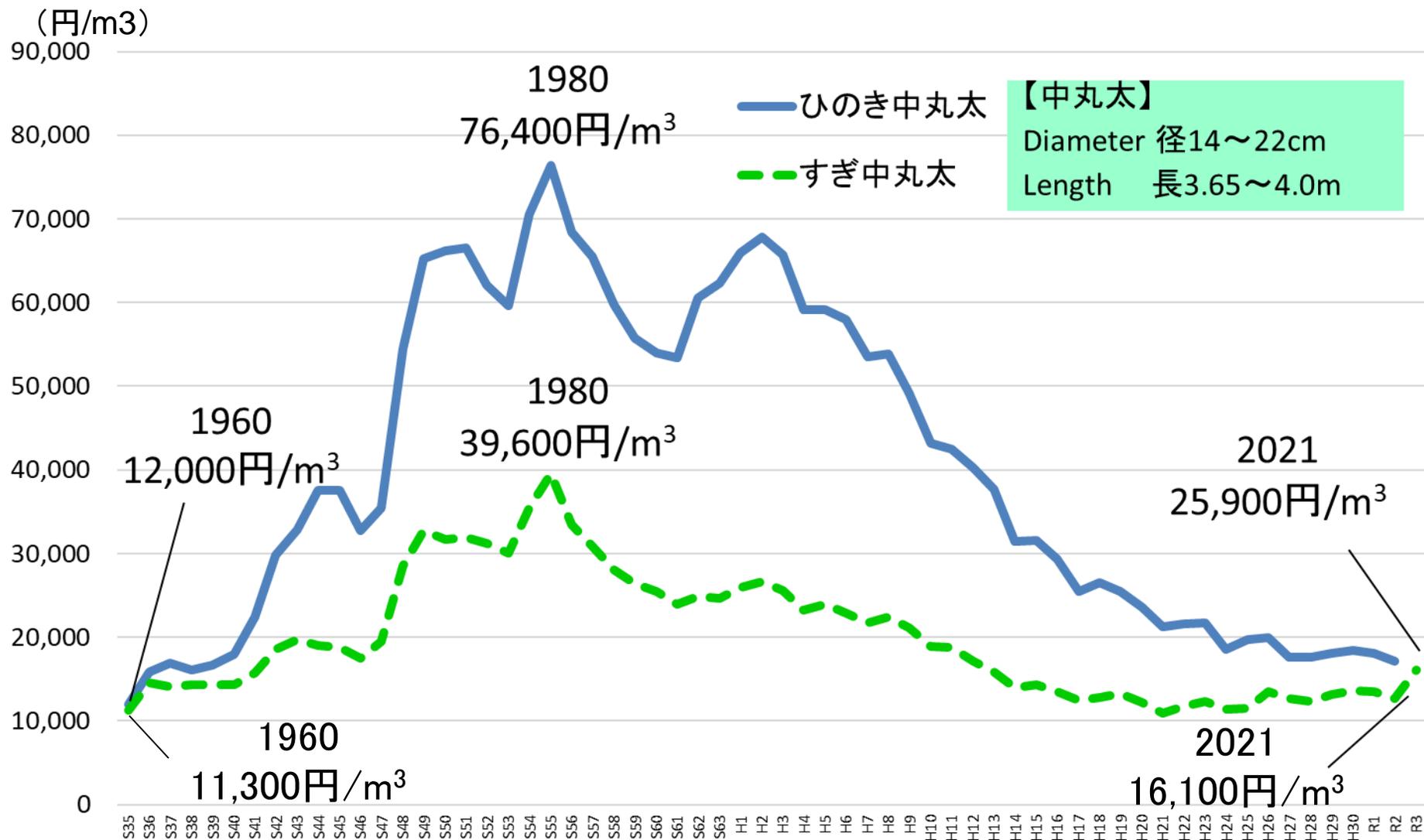
民有林人工林(針葉樹)林齢別面積

31/3/2017

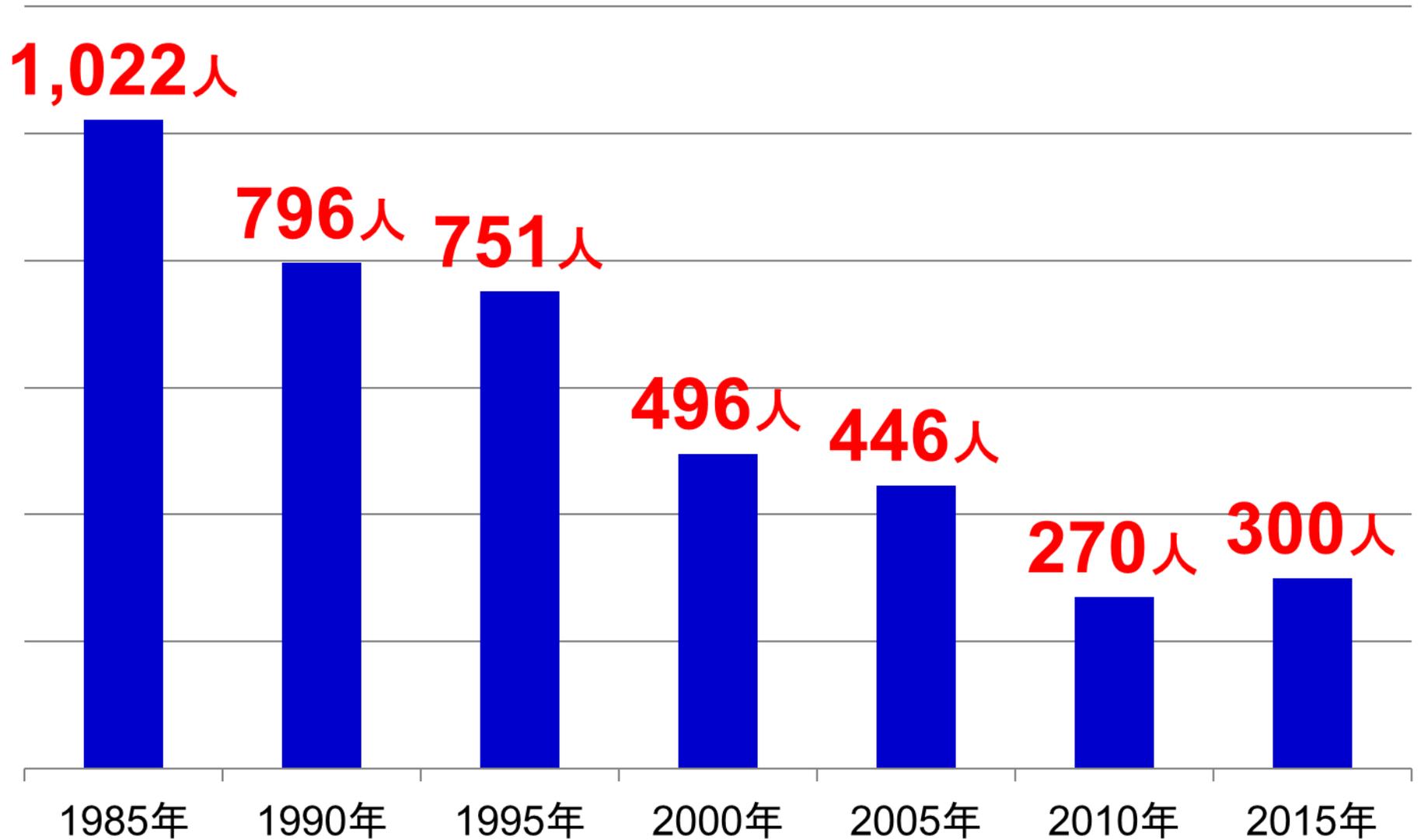
面積：56,855ha (蓄積：23million m³)



木材(丸太)価格の推移 (全国平均)



埼玉県の実業従事者数の推移



国勢調査

県内の獣害発生状況

シカによる食害で裸地化した森林



クマに樹皮を剥がされたヒノキ

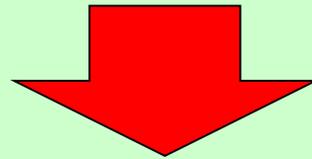


侵入防止用のネット



林業の現状

- 木材価格の低下による採算性の悪化
- 林業産出額・生産林業所得の減少
- 森林所有者の施業意欲の低下
- 林業従事者の減少・高齢化
- 獣害の発生



長期的に停滞

埼玉県の森林・林業施策

Saitama Prefecture Forest and Forestry Measures

① 森林の循環利用を推進する

Promote the recycling of forests

② 県産木材の利用を促進する

Promote the use of wood from Saitama Prefecture

③ 森林を整備・保全する

Maintain and conserve forests

多面的機能の
持続的発揮

Sustainable
demonstration of
the multi-
functionality of
forests

Diverse and healthy forest

多様で健全な森林

Passing on to the next generation
in a healthy appearance

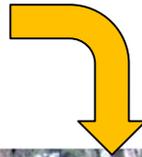
健全な姿で次世代に引き継ぐ

森林を整備・保全する Maintain and conserve forests

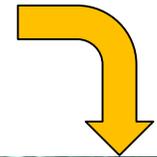
① 公益的機能を持続的に発揮できる森林の整備

Development of forests that can sustainably exert public interest functions.

② 森林保全対策の推進 Promotion of forest conservation measures.



下草が育たない森林を間伐することにより下草が成育



県民の生命・財産を守る治山施設

森林を整備・保全する Maintain and conserve forests

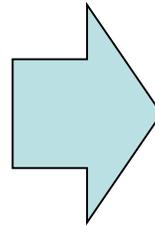
里山・平地林整備事業

Satoyama / flatland forest maintenance project



竹の伐採(作業中)

里山の
再生

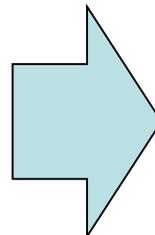


整備後



整備前

平地林の
再生



整備後

森林を整備・保全する Maintain and conserve forests

ほんだせいろうはくし

本多静六博士の森づくり Creating a forest for Dr. HONDA Seiroku



2009年植栽(芝川第一調節池)



2020年の現状

本多静六博士がの「自然の力を活かした森づくり」の考え方を取り入れ、森林の少ない地域に県民参加により17か所、計約11haの森林を創出。

Incorporating the idea of "creating forests that utilize the power of nature" by Dr. Seiroku Honda, we have created 17 forests in total of about 11ha in areas with few forests with the participation of citizens of the prefecture.

県民参加による森林づくり

Forest creation with the participation of citizens of the prefecture.



Number of participating companies / organizations

参加する企業・団体数

2021年度末

企業	86
ボランティア団体	161
計	247団体

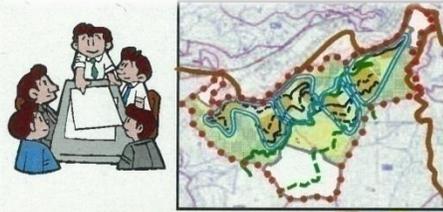
森林の循環利用を推進する Promote the recycling of forests

(伐って・使って、植えて、育てる)

(Cut and Use, Plant, Grow)

施業の集約化

Consolidating of Forest Operation



施業の集約化により規模が拡大

森林資源の循環利用

造林経費の縮減

Reduction of forestation costs



路網整備

Development of Forestry Road System



作業道

作業道

高性能林業機械の導入

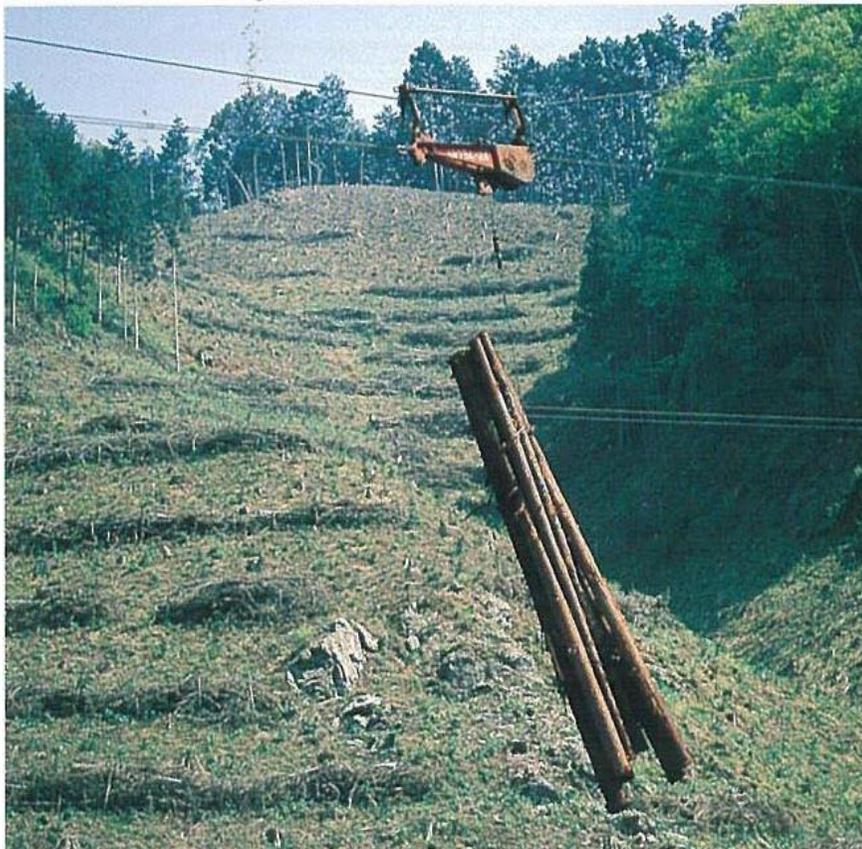
Introduction of advanced forestry machinery



森林の循環利用を推進する Promote the recycling of forests

① 森の若返りの推進 Promotion of forest rejuvenation

- 伐期を迎え利用可能な人工林を対象として、皆伐から地拵え、植栽、獣害対策、保育までを一貫して行う森林組合等への助成



森林の循環利用を推進する Promote the recycling of forests

②機械化の推進 Promotion of mechanization

高性能林業機械の導入 Introduction of advanced forestry machinery

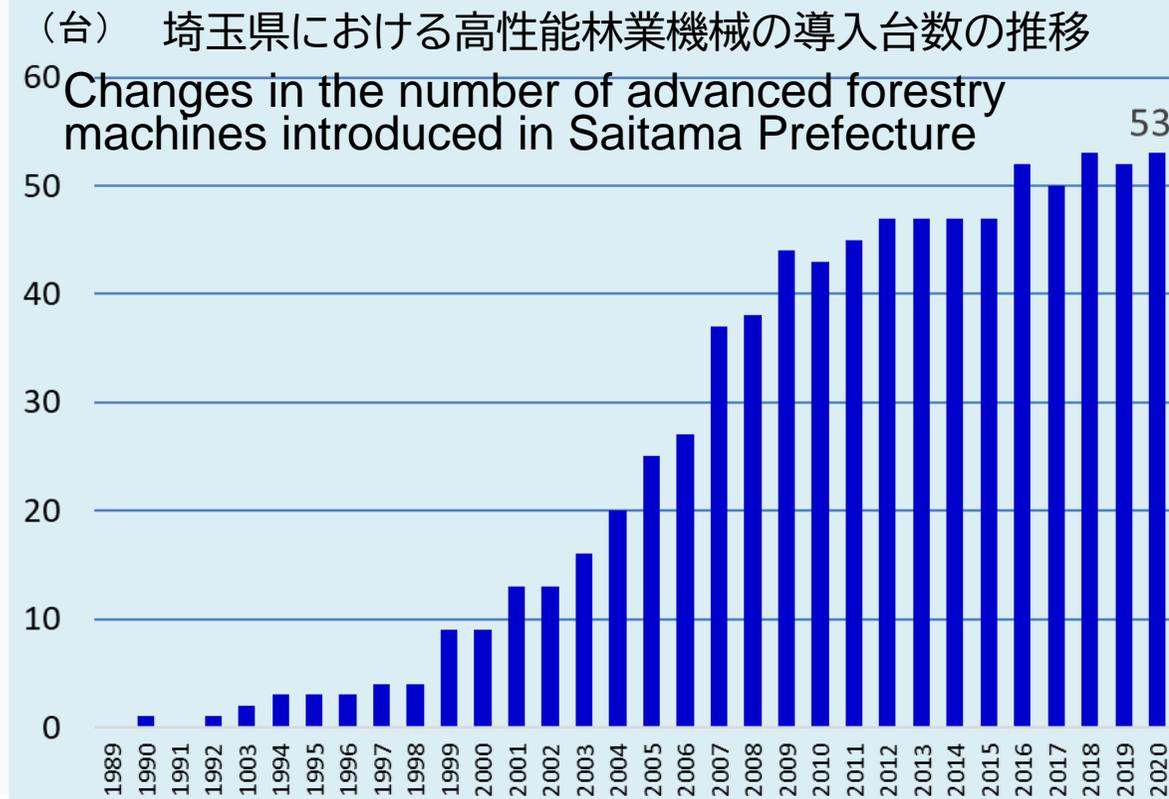
- 林業労働者の減少・高齢化への対応
- 労働生産性の向上とコストの低減
- 労働災害の防止 等



スイングヤーダ



プロセッサ



③人材の育成 The development of human resources.

森林技術者の確保・育成事業

- 森林・林業に関する実践的かつ専門的な技術を学べる体制を整備・運営するとともに、森林技術者を確保し、育成を図る。

『埼玉県林業技術者研修』の実施

- 2018年度実績 全39日間 修了生 6名
- 2019年度実績 全40日間 修了生 10名
- 2020年度実績 全40日間 修了生 11名
- 2021年度実績 全40日間 修了生 11名

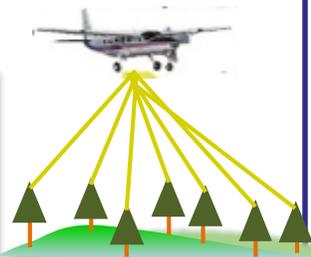


埼玉のスマート林業 Smart Forestry in Saitama

スマート林業推進事業
Promotion of smart forestry



航空レーザ
Aviation laser
survey



ドローン
レーザ
drone laser aerial
survey

リモートセンシング
データの収集
Collection of remote
sensing data

それぞれが持つ森林情報
Each holds forest information

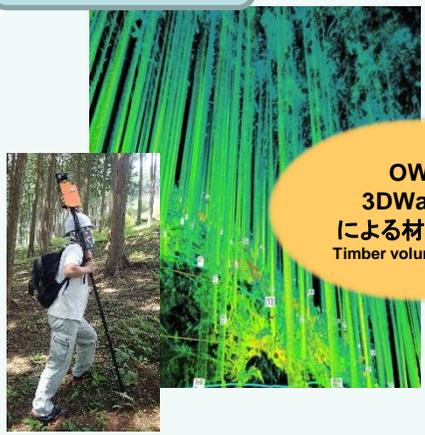
埼玉県の森林
41.2%解析済
Forest in Saitama was **42%**
analysis completed
(106,600haのうち43,955ha)

- 県**
Saitama prefecture
- 森林簿 Map of forest planning area
- 林道・作業道 Forest road / Spur road
- 市町村**
Municipality
- 所有者 Forest owner
- 伐採届 Forest cutting report
- 林業事業者**
Forestry business entity
- 森林経営計画 Forest management plan
- 施業履歴 Forest management register

森林クラウドシステムで
情報の集約化
Information aggregation
by Forest Cloud System



リモートセンシング
技術の活用
Utilization of remote
sensing technology



OWL
3DWalker
による材積把握
Timber volume survey



木材検収
システム
Inspection and
receiving system

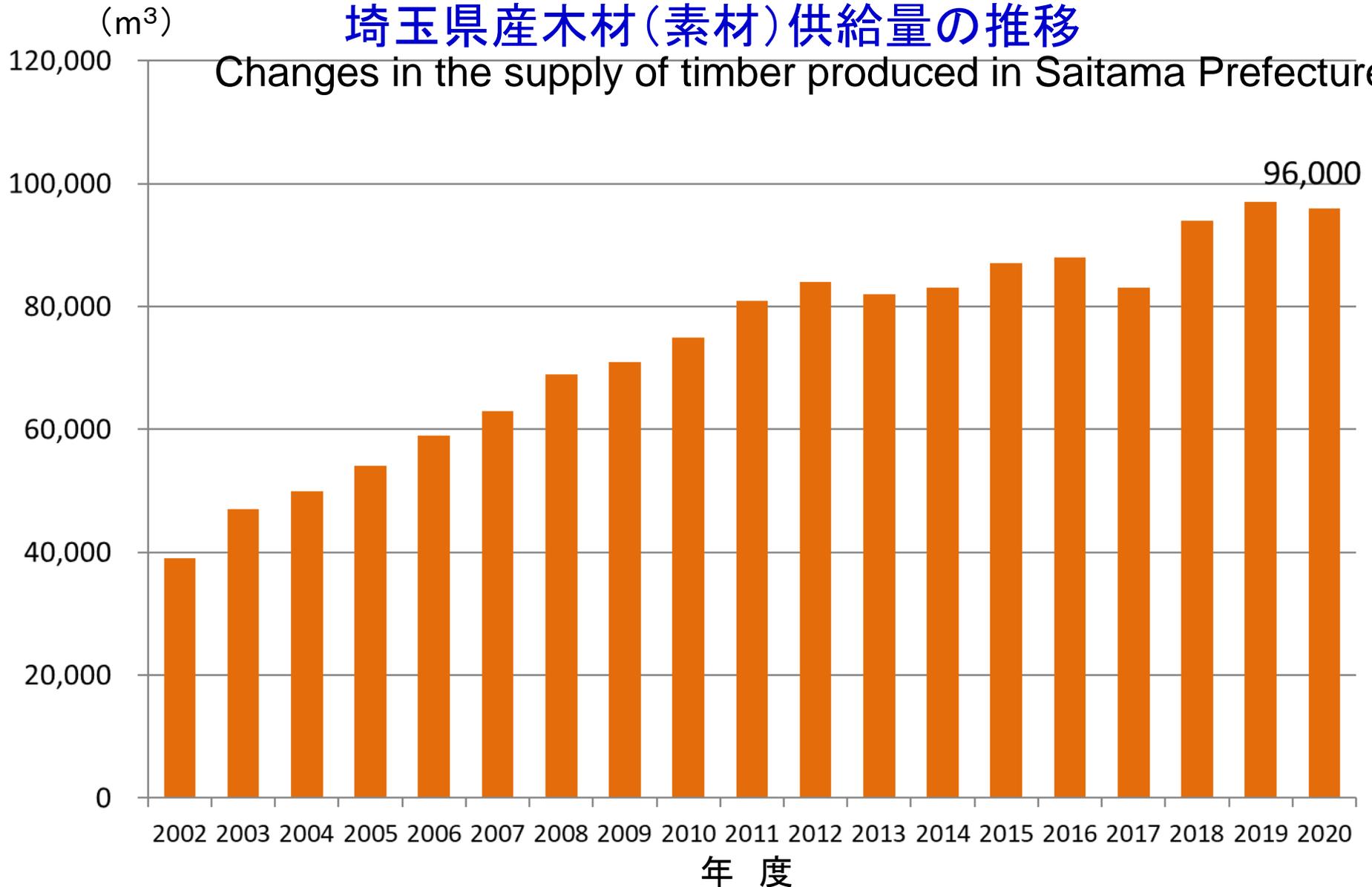
県産木材利用拡大事業
Expanding the use of timber
produced in Saitama Prefecture

県産木材の利用を促進する

Promote the use of wood from Saitama Prefecture

埼玉県産木材(素材)供給量の推移

Changes in the supply of timber produced in Saitama Prefecture



県産木材の利用を促進する

Promote the use of wood from Saitama Prefecture

公共施設での県産木材利用拡大

Public facility

Saitama Agricultural College

埼玉県農業大学校の新校舎



市町村における事例



市立図書館(飯能市)木材使用量 53m³



秩父消防北分署(皆野町)木材使用量 124m³



都幾川中学校(ときがわ町)木材使用量 53m³

- 所在地:熊谷市樋春字谷南2010
- 木材使用量: 1,109.19m³ うち県産木材 1,081.26m³(97%) [スギ 8,000本相当]



県産木材の利用を促進する

Promote the use of wood from Saitama Prefecture

民間住宅での利用拡大 Private housing



県産木材の利用を促進する

Promote the use of wood from Saitama Prefecture

民間住宅等での利用拡大 Private housing

埼玉の木みんなを使って豊かな暮らし応援事業

Subsidies for houses using wood from Saitama Prefecture

2020年度 219件
2021年度 185件

県木材の使用量に応じた助成 [2014年度~]

補助額：新築1戸 ¥17,000/m³ New construction

内装木質化 ¥3,000/m² Woodification of interior

Conditions: Uses 60% or more of Saitama wood

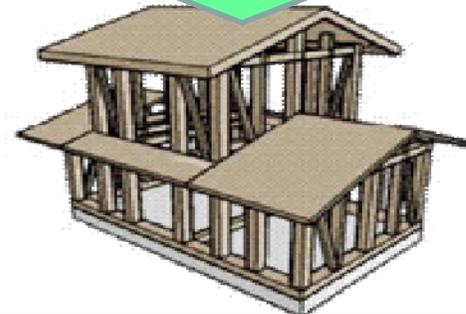
条件：県産木材を60%以上使用

Maximum subsidy

Subsidy 最大¥340,000/戸

補助

県産木材



Expanding the use of Saitama lumber at construction shops
工務店等での県産木材利用ルート拡大

Expansion of the amount of timber produced in Saitama Prefecture and promotion of recycling of forests
県産木材の利用量の拡大・森林の循環利用の促進

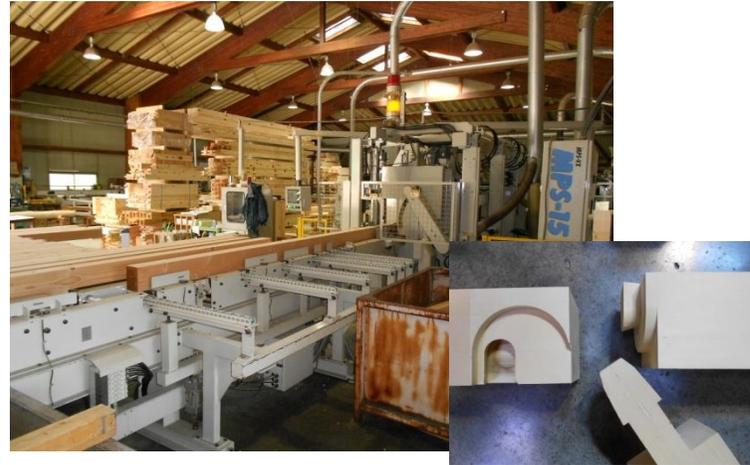
木材利用

材木市場



生産・加工・流通体制の整備

製材・加工所



利用



建築材



燃料



県産木材の利用を促進する

Promote the use of wood from Saitama Prefecture

木育の推進 Promotion of tree education

埼玉県農林公園(深谷市) 『木材文化館 木育広場』



2018年6月15日オープン
Opened June 15, 2018

2021年度末までに延べ50,611人が
来場 A total of 50,611 people visited by the end
of 2021

木と人つなごう木育推進事業

親子で木に触れ合う活動（木育）を県内各地で実施



木育ひろば
(深谷市 農林公園)



イオンレイクタウン(越谷市)



県民の森
(横瀬町)

技術普及・試験研究

担い手育成

技術研修



特用林産物

キノコ



メープルシロップ



試験研究

スギ・ヒノキ
遺伝的改良



獣害対策

少花粉コンテナ苗



GPS首輪追跡調査



森林環境教育

県民参加の森づくり

ボランティア・
企業の森



森林・林業教育



ふれあい施設

環境・森林への意識醸成



第75回全国植樹祭に向けた

苗木のスクールステイに 参加しませんか？

「全国植樹祭」について

この事業には、
彩の国みどりの基金が
活用されています

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林や緑に対する国民的理解を深めるために、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する国土緑化運動の中心的行事です。

埼玉県では、昭和34年(1959年)4月に開催して以来66年ぶり2回目の開催が令和7年(2025年)に内定しています。

「苗木のスクールステイ」とは

第75回全国植樹祭や関連行事(プレ植樹イベント等)で使用する苗木を、県内小中学校等の皆さんにどんぐり(種)から育てていただくものです。

この取組により、森林や身近な緑の大切さについて、子どもたちをはじめとする多くの皆さんに知っていただくとともに、全国植樹祭の開催機運を高めることを目的としています。





名栗湖
Lake Naguri



埼玉県農林部森づくり課

Saitama Prefectural Government Forestation Division



埼玉県のマスコットコバトン